

業務の概要

令和3年度 業務実績

【第3期中期計画の主要事業の実施状況】

- ・「m-ECTセンター」の開設（令和4年1月）
令和3年12月に竣工し、翌1月から週2回・1日5人まで治療可能とする体制での運営を開始した。センター開設後は治療件数が月平均18.6件から25.6件に増加した。
- ・「依存症医療センター」の開設（令和4年3月）
県から指定されたアルコール健康障害、薬物・ギャンブル等に関する「依存症専門医療機関」及び「依存症治療拠点機関」の役割、各種依存症プログラムの提供を内外に示し、関係機関との連携強化を図った。
- ・「インターネット・ゲーム依存症治療」の開始（令和4年3月）
治療体制、家族支援、情報発信について検討し、試験的入院3例に対して先進病院の治療プログラムを参考に治療を実施後、病院独自の治療プログラムを確立した。令和4年3月から外来受入れを開始し、令和4年5月から入院治療の開始を予定している。
- ・「子どものこころ総合医療センター」基本構想策定（令和3年10月）
児童精神科医療に対するニーズに応えるため、必要とされる医療体制の整備に向けて「児童・思春期、青年期精神科医療懇談会」を開催した。センター開設の意義や目指すべき姿など基本計画の骨格となる「基本構想」を策定した。
- ・病院機能評価（3rdG:Ver.2.0）更新（令和3年11月）
医療の質の向上と病院運営の透明化のため、病院機能評価の認定を更新した。（S評価7項目）

◆高度・専門医療

（1）精神科救急医療

- ・県内精神科救急の拠点として、24時間365日体制で救急患者の受入れ体制を確保
【救急時間外対応件数：226件、うち入院件数93件（入院率41.2%）】
【緊急措置及び措置入院件数：23件】
- ・措置入院患者に対して、保健所や市町村等と連携し措置入院退院支援計画書を作成【作成件数：4件】
- ・医療機関の診察時間外の障がい者在宅アセスメントセンターへの相談対応【相談件数：310件】

（2）外来機能の充実

- ・外来救急やウォークイン患者に対し、緊急性の評価を行い、適切な診療を実施
【3年度：81件、うち入院件数38件 入院率46.9%】

（3）m-ECTセンターの開設

- ・薬物療法では効果が見られない難治性、治療抵抗性の患者に対するm-ECT（修正型電気けいれん療法）の充実を図り、県内医療機関から入院患者を受け入れるため令和4年1

月に「m-ECTセンター」を開設

- ・週2回、1日5人まで治療可能とする体制での運営を開始し、開設後は件数が月平均18.6件から25.6件に増加

(4) クロザピン治療

- ・治療抵抗性や難治性疾患患者に対し、クロザピンの治療を実施

(5) 依存症医療

- ・県から指定された、アルコール健康障害、薬物・ギャンブル等に関する依存症専門医療機関及び「依存症治療拠点機関」として、令和4年3月に「依存症医療センター」を開設
- ・全9回のゲーム・ネット依存症チーム会で、治療体制、家族支援、情報発信について検討し、試験的入院3例に対して先進病院の治療プログラムを参考に治療を実施後、病院独自の治療プログラムを確立。令和4年3月から外来受入れを開始、令和4年5月から入院治療を開始予定
- ・依存症で悩む家族のためのプログラム（クラフト（CRAFT））を本格稼働。当院への入院や内科受診、飲酒問題の解消に繋げるなど、家族支援を強化
【参加家族：6人】

(6) 児童・思春期、青年期医療

- ・児童精神科医療に対するニーズに応えるため、必要とされる医療体制の整備に向けて「児童・思春期、青年期精神科医療懇談会」を2回開催。センター開設の意義や目指すべき姿など基本計画の骨格となる「基本構想」を策定

(7) 医療観察法による医療

- ・指定入院医療機関及び指定通院医療機関として、厚生労働省が示す医療観察法各種ガイドラインに沿い、対象者の社会復帰に向けた治療を実施
- ・外部評価会議、地域連絡会議を開催し、病棟の運営状況や処遇事例、緊急時における関係機関との連携などについて意見交換

◆地域連携の推進

(1) 認知症医療

- ・認知症疾患医療センターにおいて、認知症の専門相談対応
【専門相談（電話・面接） 令和3年度：1,713件、令和2年度：1,565件】
- ・医師、保健師、公認心理師など多職種による「もの忘れ外来」を行い、地域包括支援センター、居宅介護事業所等への紹介など、地域における生活支援を行うため医療・介護の連携を推進
【もの忘れ外来件数：3年度：1,903件（うち鑑別診断件数 124件）
2年度：1,981件（うち鑑別診断件数 91件）】
- ・駒ヶ根市が実施する「認知症初期集中支援チーム事業」に作業療法士、認知症認定看護師が参画し、相談応需や訪問支援などを実施
【訪問回数 3年度：延べ25件、2年度：延べ19件】

(2) 精神科訪問看護

- ・退院前カンファレンスへの訪問看護師の参加と退院後の速やかな訪問を実施。特に初回入院患者の退院後は毎週訪問（1ヶ月間）を行い、3ヶ月以内の再入院を抑制

【訪問看護件数 3年度：1,794件（再入院率※ 18.4%）、

2年度：1,932件（再入院率 16.4%）

※全国自治体病院協議会の医療の質の評価公表では、令和3年4月から12月の全国平均は19.4%であり、全国平均以下を維持

(3) 地域包括ケアシステムの推進

- ・精神科地域包括ケアシステムの一資源として、令和4年8月の訪問看護ステーション開設に向け、近隣クリニックなどへの訪問調査や情報収集を行い、基本計画を策定
- ・デイケアにおいて、円滑な地域移行に結び付けるために一般就労出前講座や作業見学を実施

(4) 地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進

- ・児童相談所との連携強化のため、諏訪及び飯田児童相談所への医師の派遣
- ・市町村、児童相談所、要保護児童対策地域協議会等と連携し、虐待や自殺企図、摂食障害など緊急入院への対応
- ・児童病棟満床時には、緊急避難的に成人病等で児童患者を受入れ

【新規入院患者数 3年度：45人、うち緊急・優先入院 6人、うち成人病棟へ4人

2年度：53人、うち緊急・優先入院 3人、うち成人病等へ24人】

◆災害医療

- ・令和3年11月に駒ヶ根市で開催された長野県総合防災訓練への参加
- ・長野県DPAT研修会や災害時PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）と心理対応研修会への参加
- ・院内にてPFA研修会やトリアージ研修会を実施

◆新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 感染者等の受入れ

- ・精神疾患があり、かつ感染及び感染の疑いがある患者を受入れ

【感染者受入数：5人（入院日数 延べ58日）】

【疑い患者受入数：8人（入院日数 延べ23日）】

【PCR検査件数：109件、抗原定性検査件数：115件】

(2) ワクチン接種の実施

- ・ワクチン接種のため駒ヶ根市及び西駒郷（障害者支援施設）へ医師・看護師を派遣

【住民：387件、医療従事者：1,136件】

◆医療従事者の養成と専門性の向上

(1) 医療従事者の養成

- ・初期研修医 17 人を受入れ
- ・精神科認定看護師の養成のため、1 人が資格取得
- ・一般社団法人子どものこころ専門医機構に研修施設（基幹病院）として承認

（2）県内医療従事者の技術水準向上への貢献

- ・県内の医療従事者や一般向けに、インターネット・ゲーム依存や認知症予防、発達障害に関することなどの出前講座を実施

◆医療の質の向上

（1）より安全で信頼できる医療の提供

- ・新型コロナウイルス感染予防の対応強化のため、他の県立病院から情報収集
- ・PCR 検査機器導入による院内検査体制を拡充

（2）病院機能評価（3rdG:Ver.2.0）更新

- ・8 月に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、11 月に認定を更新。救急医療機能、多職種協働、地域への情報発信など 7 項目にて S 評価を取得

（3）信州大学等との連携

- ・連携大学院教育による勤務医 2 人の博士号取得に係る研究を実施
- ・医師（当院を基幹とする医師）1 人が、連携施設である信州大学医学部附属病院にて研修を実施し、精神科専門医研修を修了

◆業務経営の改善及び経営基盤の強化

（1）職員満足度向上のための取組み

- ・職員への情報共有と院内コミュニケーションの円滑化を目的に、院内広報誌「猫べんちのつぶやき」を 5 回発行
- ・ここ駒アワードを実施し、自己研鑽に励む職員や組織運営への貢献度が高い職員を院内に紹介

（2）働き方改革

- ・ワークライフバランスの推進を図るため、令和 3 年 11 月より病棟部門を三交代制勤務から二交代制勤務に変更（試行）。外来部門は二交代制勤務を導入し、医師の日当直業務の削減を行い、12 月に医師の宿日直許可を取得
- ・医師事務業務の削減と書類作成の迅速化を図るため、外来クランク 2 人を活用し、医師のタスク・シフティングを推進

（3）情報発信

- ・院外広報誌「ここ駒通信」を発行し、関係施設などへ送付、伊南 4 市町村へ隣組回覧
- ・地域住民への精神科医療の理解促進を目的に、上伊那地域の情報誌「月刊かみいな」へコラム記事を掲載

講演・研究発表等の状況

(1) 学会

学会の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
第 22 回日本小児精神医学研究会教育ウェブセミナー	R3.7.23 ~ R3.8.21	Web	原田 謙	特別講演「キれるはこころのSOS」
日本病院薬剤師会関東ブロック第 51 回学術大会	R3.8.28 ~ R3.9.5	Web	五味 和彦	児童精神科病棟における服薬指導を考える
日本病院薬剤師会関東ブロック第 51 回学術大会	R3.8.28 ~ R3.9.5	Web	山本 和幸	急性期病棟における統合失調症患者の処方薬調査
第 31 回日本医療薬学会年会	R3.10.9 ~ R3.10.10	Web	五味 和彦	向精神薬減量が不安に及ぼす影響調査
第 21 回アジア臨床薬学カンファレンス (ACCP2020 in Nagoya)	R4.2.11 ~ R4.2.13	Web	五味 和彦	Effects of psychotropic dose reduction on anxiety

(2) 講演会等

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
<出前講座>				
日本臨床発達心理会 日本臨床発達心理会 長野支部	R3.5.23	Web	北澤夕紀子	サイコロジカルファーストエイド ～災害時におけるこころのケア～
精神障がい者家族会研 究会 箕輪町	R3.7.7	箕輪町	稲垣 佑輔	日常生活の過ごし方や日中活動 について
長野県養護教諭研修会 長野県教育委員会	R3.7.13	Web	足立 順代	ネット依存と現代の子どもたち
子育てワークショップ 伊那市	R3.7.16	伊那市	多々良恭子	子育て中ほど自分を大切に ～子育て仲間とマインドフルネス～
(虐待自助グループ) 子育てママの会 伊那市	R3.9.21 ~ R3.12.7	伊那市	多々良恭子	子育て中ほど自分を大切に ～子育て仲間とマインドフルネ ス～
認知症サポーター養成 講座 駒ヶ根市	R3.10.3	Web	三浦 典子 伊丹麻衣子	認知症の理解・地域での支え方 について等
梅の里大学 宮田村	R3.10.4	宮田村	三浦 典子	認知症とその予防
キャリア開発支援プロ グラム 佐久大学	R3.10.20	佐久市	多々良恭子	自分を大切にしよう！ 自己肯定感、自尊感情を高める ために
精神障がい者家族会研 修会 箕輪町	R3.11.9	箕輪町	田端真理生	精神科の薬について

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
南信地区高等学校養護 教諭研究会 南信地区高等学校養護 教諭研究会	R3.11.9	Web	足立 順代	インターネット・ゲーム障害の子 ども達への支援
消防団員セーフティ・ ファーストエイド研修 消防団員等公務災害補 償等共済基金	R3.11.21	阿南町	北澤夕紀子	サイコロジカルファーストエイド ～災害時におけるこころのケア～
上伊那郡市保健師連絡協 議会研修会 上伊那郡市保健師連絡協 議会	R3.12.10	Web	熊谷 照美	発達特性を持つ方・家族への支援 ～思春期から大人につなぐ支援～
箕輪町精神障がい者家 族会 箕輪町	R4.1.20	Web	黒川めぐみ	不眠について
箕輪町精神障がい者当 事者の会 箕輪町	R4.1.25	Web	山本 和幸	薬との付き合い方を学ぼう
こころの健康サポーター 研修会 伊那市	R4.2.18	Web	鶴澤 正寛	こころの不調への気づき ～自分・周りの人ができること～
管内保健師研修会 上伊那郡市保健師連絡 協議会	R4.3.7	Web	足立 順代	ネット・ゲーム・スマホ依存の 現状と対応について
職員研修会 NPO法人辰野自立生活 支援の会あかり	R4.3.14	辰野町	三浦 典子 熊谷 照美	高齢者の心理的特徴と大人の発 達障がいについて
<講演会>				
令和3年度研修会 京都市学校医会	R3.6.26	Web	原田 謙	「キレル」はこころのSOS
長野県公認心理師・臨 床心理士会第3回大会 長野県公認心理師・臨 床心理士会	R3.7.4	Web	北澤夕紀子	長野県の現状と実践から考える 依存の理解と支援
発達障がい診療諏訪地 域連絡会 同上	R3.8.12	諏訪市	吉崎 洋介	事例検討会
伊那支部市民公開講座 長野県看護協会	R3.8.28	伊那市	谷 美加	発達特性の理解と関りを学ぶ
日本消化器病学会甲信 越支部例会教育講演会 日本消化器病学会甲信 越支部	R3.10.23	Web	犬塚 伸	精神科医療機関におけるアル コール依存症の治療

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
SBI RTSの普及促進セミナー 長野県精神保健福祉センター	R3.10.31	Web	犬塚 伸	アルコール依存症の早期発見・早期対応・継続支援モデル事業とSBI RTSの展開 シンポジスト
市民後見人養成講座 伊那市社会福祉協議会	R3.11.11	伊那市	須藤 奈美	精神障がい者・その他の障害の理解
看護学生など実習指導者養成講習会 長野県看護協会	R3.11.15	Web	高橋たか子	実習指導方法演習 精神看護実習
精神科病院における法律相談会に関する研修会 関東弁護士会連合会	R3.11.16	Web	宮澤 真紀	どのように法律相談体制を整えたのか、弁護士との連携状況、実際の法律相談の内容
精神障がい者地域支援研修会 伊那保健福祉事務所	R3.12.14	南箕輪村	須藤 奈美	高齢の精神障がい者の地域移行・地域定着支援について
子どもの心の診療に関する医学講座 鳥取大学医学部附属病院	R3.12.16	Web	原田 謙	素行症・反抗挑発症
長野県医療ソーシャルワーカー協会研修会 長野県医療ソーシャルワーカー協会	R4.1.29	Web	犬塚 伸	アルコール関連問題とアディクション
第3回発達障害研究会 in Yokohama 社会福祉法人青い鳥	R4.1.29	Web	原田 謙	「キレル」はこころのSOS
ゲーム依存症対策研修会 長野県精神保健福祉センター	R4.2.16	Web	宮崎 洋	ゲーム依存への取り組み

(3) 講義

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
信州大学医学部	R3.9.17	Web	小野寺陽子 稲垣 佑輔	作業療法見学実習
	R3.10.22	松本市	埴原 秋児	老年期の精神医学
	R3.11.5	松本市	埴原 秋児	器質性精神障害
長野県看護大学	R3.5.19	Web	稲垣 佑輔	精神看護領域実習
	R3.6.15	駒ヶ根市	高橋たか子	アルコール依存症の症状とその看護
	R3.9.17	Web	竹内 玲子	病院オリエンテーション 精神看護実習に臨むにあたって
	R3.9.30	Web	江連比呂子	精神看護領域実習

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
信州木曽看護専門学校	R3.7.26	木曽町	大倉 直紀	災害とこころのケア・災害派遣精神医療チーム (DPAT) の役割
	R3.7.26 R3.7.29	木曽町	三浦 典子	精神看護学概論
	R3.9.27	木曽町	原田 謙	児童・青年期の障害 (摂食障害を含む)
	R3.9.29	Web	蓑和 路子	精神医学総論、精神症候学
	R3.10.6	木曽町	埴原 秋児	器質性精神障害 (てんかん・認知症を含む)
	R3.10.13	Web	蓑和 路子	統合失調症
	R3.10.22	木曽町	伊藤 一郎	キャリア開発講座「看護専門職として成長を続けるために」
	R3.11.1	Web	原田 謙	神経症圏の障害とストレス関連性障害
	R3.11.10	Web	蓑和 路子	気分障害、精神科における検査・療法
	R3.11.29	木曽町	犬塚 伸	アルコールおよび精神作用物質関連障害
	R3.12.3 R3.12.20	木曽町	黒川めぐみ	精神機能障害論
	R3.12.13	木曽町	三浦 典子	老年援助論Ⅱ
	R4.1.6	木曽町	高橋たか子	精神看護援助論Ⅰ
長野県須坂看護専門学校	R3.4.28 R3.5.11～ R3.5.12	須坂市	大蔵 真理	精神援助論Ⅱ
	R3.11.9～ R3.11.11	須坂市	熊谷 照美	精神援助論Ⅱ
上伊那医師会附属 准看護学院	R3.4.7～ R3.7.21	伊那市	三井由美子 森下 悦子	精神科看護
岡谷看護専門学校	R3.12.8	岡谷市	高橋たか子	精神援助論Ⅰ (依存症)

(4) 研究論文

著者名	題名	著書・雑誌名・集録名・ 発行年・出版社名
埴原 秋児	認知症におけるリスク管理	『精神科救急』第24巻(別冊)、2021年6月 一般社団法人 日本精神科救急学会
埴原 秋児	The prevalence and course of neuropsychiatric symptoms in stroke patients impact functional recovery during in-hospital rehabilitation	『TOPICS IN STROKE REHABILITATION』 Volume 29, issue 1, Page 1-8, 2022
原田 謙	「キレル」子どもと家族	『精神科』 2021年5月、科学評論社
原田 謙	「キレル」子どもに対する薬物療法	『精神科治療学』 2021年10月、星和書店
浮舟 裕介	患者に対する否定的感情体験後の精神科看護師の対処行動の構成因子とその影響要因	『大阪府立大学看護学雑誌』 第28巻1号、P33-44、2022

研修医受入れ状況

病院名	受入れ期間	受入れ人数
信州医療センター	R3.8.2 ~ R3.8.27	1
	R3.11.1 ~ R3.11.26	1
	R3.11.29 ~ R3.12.28	1
伊那中央病院	R3.4.5 ~ R3.4.30	1
	R3.6.7 ~ R3.7.2	1
	R3.8.2 ~ R3.8.27	1
	R3.9.6 ~ R3.10.1	1
	R3.10.4 ~ R3.10.29	1
	R3.11.29 ~ R3.12.24	1
	R4.1.4 ~ R4.1.28	1
飯田市立病院	R4.1.31 ~ R4.3.16	1
	R3.5.10 ~ R3.6.4	1
	R3.7.5 ~ R3.7.30	1
	R4.1.31 ~ R4.2.25	1
昭和伊南総合病院	R4.2.28 ~ R4.3.25	1
	R3.6.7 ~ R3.7.2	1

実習生受入れ状況 (*インターン等を含む)

(1) 臨床実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
信州大学医学部医学科	6年	R3.4.5 ~ R3.4.28	1
	5年	R3.9.6 ~ R3.9.30	1
		R3.10.4 ~ R3.10.28	1
		R3.11.1 ~ R3.11.25	1
		R3.11.29 ~ R3.12.23	1
		R4.1.4 ~ R4.1.27	1
		R4.1.31 ~ R4.2.24	1

施設の概要

業務の概要

治療の概要

各種データ・資料

経営の状況

付録

(2) 精神科看護実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
長野県看護大学	臨床看護実習 3年	R3.11.22 ~ R3.12.3	10
	在宅看護実習 4年	R3.7.20 ~ R3.7.21	4
	在宅看護実習 3年	R3.10.12 ~ R3.10.13	4
		R3.11.9 ~ R3.11.10	4
		R3.12.7 ~ R2.12.8	3
信州木曾看護専門学校	臨床看護実習 3年	R3.5.7 ~ R3.5.20	5
		R3.7.2. ~ R3.7.15	10
		R3.10.30 ~ R3.11.15	10
長野県須坂看護 専門学校	臨床看護実習 3年	R3.6.7 ~ R3.6.17	13
		R3.10.19 ~ R3.10.29	10
上伊那医師会附属 准看護学院	臨床看護実習 2年	R3.7.26 ~ R3.8.6	9

(3) 作業療法実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
信州大学医学部保健学科	1・2年	R3.9.17	39

(4) 薬学生等精神科実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
伊那中央病院	薬剤師	R3.12.6 ~ R3.12.7	1
公立諏訪東京理科大学	教授	R4.3.17	1

意見箱へのご意見

病棟を含め、院内6か所に意見箱を設置し、積極的かつ継続的に意見等の収集に努めている。令和3年度は合計86件の意見、要望が寄せられた。これは前年と比較し、39件減少している。

寄せられた意見のうち、実行可能なものは速やかに改善を行い、部門横断的な改善活動、情報共有を行い、医療の質の向上に取り組んでいる。

ご意見の内容	30年度	元年度	2年度	3年度
福祉サービスの利用等に関すること	0	0	0	0
障がいや病状に関すること	0	0	0	1
医療に関すること	9	1	0	3
不安の解消・情緒安定に関すること	2	0	0	1
家族関係・人間関係に関すること	0	0	0	0
就労に関すること	0	0	0	0
家計・経済に関すること	0	0	0	0
社会参加・余暇活動に関すること	0	0	0	0
権利擁護に関すること	1	0	0	0
薬に関すること	0	1	3	0
栄養に関すること	20	27	12	6
作業療法に関すること	0	1	3	3
デイケアに関すること	1	0	3	2
訪問看護に関すること	0	0	0	0
接遇に関すること	24	21	17	15
虐待・家庭内暴力に関すること	0	0	0	0
環境整備に関すること	28	28	25	18
治療環境に関すること	12	37	33	19
その他*	37	55	29	18
計	134	171	125	86

* その他の意見については、病状によるものが大半を占めている。

病院運営各種委員会等

令和4年3月31日現在

会議名称	所掌事項
病院運営協議会 *	病院の運営等に関し、外部委員からの提言に関すること
病院運営会議	病院の運営等に関すること
倫理委員会 *	倫理審査に関すること
医療観察法病棟 外部評価会議 *	医療観察法ユニットの運営状況や治療内容の外部評価
医療観察法病棟 倫理会議 *	医療観察法ユニットにおける倫理に関すること
医療観察法病棟 地域連絡会議 *	医療観察法ユニットにおける地域連携の確保に関すること
医療観察法病棟 運営会議	医療観察法ユニットの運営状況に関すること
医療観察法病棟 治療評価会議	医療観察法ユニットにおける治療効果の評価に関すること

* 外部委員あり

委員会名称	所掌事項
安全衛生委員会	<p>目的： 職場の安全衛生に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場づくりの推進 超過勤務縮減の取組 職員相談体制の充実による心身の健康増進 5S活動の促進及び定着、公務災害の防止 交通安全の推進
医療安全管理委員会	<p>目的： 医療安全に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な委員会開催による院内医療安全管理体制の確保 医療事故等の検証による再発防止の徹底 医療安全職員研修の実施による安全意識の啓発
医療ガス安全管理委員会	<p>目的： 医療ガスの管理・運用に関すること</p> <p>活動実績： (年1回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療ガス設備日常点検による安全の確保 安全の確保の為、外部委託による医療ガス定期点検を実施 医療ガス職員研修の実施による安全意識の啓発
院内感染対策委員会	<p>目的： 感染対策に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策研修会の出席率向上 感染対策に関する理解度の促進 院内ラウンドの実施 感染対策情報の迅速な提供 院内感染対策マニュアルの改訂 新型コロナウイルスワクチン接種実施
栄養委員会	<p>目的： 入院患者の栄養管理に関すること</p> <p>活動実績： (年3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の食事満足度の向上策について検討 NST 介入症例の紹介等による栄養サポート体制の強化 NST 介入につなげる方法の検討
栄養サポート委員会	<p>目的： 栄養リスクのある患者の早期抽出及びモニタリングの実践に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートが必要な患者の早期抽出とモニタリング リフィーディング症候群チェックリストの作成 栄養サポートに関する研修会の開催 (1回) NST ラウンドの実施 (新規 48名、延べ 398人)

委員会名称	所掌事項
患者家族相談窓口 月例会議	<p>目的： 苦情、相談等に関する事</p> <p>活動実績： ・相談等の内容及び担当部署の対応状況の確認 (毎月開催) ・苦情、意見等の分析及び改善活動の効果検証 ・困難事例に対する対応協議</p>
教育研修委員会	<p>目的： 職員研修及び公開講座・出前講座に関する事</p> <p>活動実績： ・教育研修に係る PDCA サイクルの確実な運用 (年4回開催) ・研究研修費の効果的な予算執行、管理 ・職員が活躍できる機会の積極的な提供 (院内研究発表会などの開催) ・精神科研修・研究センターとの連携</p>
クリニカルパス委員会	<p>目的： クリニカルパスの作成・管理・運用に関する事</p> <p>活動実績： ・患者パスの利用促進 (隔月開催) ・クリニカルパス利用促進のための啓発、広報活動及び調査検討、企画立案</p>
クロザリル治療委員会	<p>目的： クロザリルを用いた適正な治療の推進に関する事</p> <p>活動実績： クロザリルの治療申請について、5件の検討を実施 (随時開催)</p>
行動制限最小化委員会	<p>目的： 入院患者の隔離・拘束に関する事</p> <p>活動実績： ・院内における行動制限状況の適切性、最小化のための検討会議を定期開催 (毎月開催) ・全職員を対象とした精神保健福祉法、隔離・拘束の早期解除や、危機予防のための介入技術に関する研修会を実施</p>
サービス向上委員会	<p>目的： 職員の接遇に関する事</p> <p>活動実績： ・全職員を対象とした接遇標語や研修による啓発活動 (年3回開催) ・院内掲示物ラウンドの実施</p>
事後審査委員会	<p>目的： 特定医師による特例措置の妥当性検証に関する事</p> <p>活動実績： 特定医師による措置について6件の事後審査を実施 (随時開催)</p>
児童運営委員会	<p>目的： 児童精神科治療に係る運営方針に関する事</p> <p>活動実績： 外来、病棟における運営方針の検討、見直し (毎月開催)</p>
児童虐待対策委員会	<p>目的： 児童虐待への対応に関する事</p> <p>活動実績： ・関係機関との迅速で適切な連携 (毎月開催) ・児童虐待ケース進行管理による継続的な支援を行う体制づくり ・子ども虐待に対する院内研修の実施</p>
医療情報システム 管理委員会	<p>目的： システム管理に関する事</p> <p>活動実績： ・電子カルテ、オーダリングシステムの円滑な運用 (年4回開催) ・院内の適正な情報化推進</p>

委員会名称	所掌事項
褥瘡対策委員会	<p>目 的： 入院患者の褥瘡予防と対応に関する事</p> <p>活動実績： ・褥瘡の予防、適切な治療の実施 (毎月開催) ・院内の褥瘡対策の体制整備 ・褥瘡予防研修会の実施</p>
診療情報管理委員会	<p>目 的： カルテ記載・管理に関する事</p> <p>活動実績： ・診療録の量的、質的監査の実施 (毎月開催) ・災害時カルテの検討</p>
診療情報提供委員会	<p>目 的： 診療情報の開示に関する事</p> <p>活動実績： 診療情報開示請求件数 10 件 (随時開催)</p>
治験受託検討委員会	<p>目 的： 治験受託の決定と適正な執行に関する事</p> <p>活動実績： 新規治験の申し込みに対して円滑な受託可否を検討 (随時開催)</p>
防災対策委員会	<p>目 的： 防災に関する事</p> <p>活動実績： ・前回訓練の反省を生かした訓練の実施 (年 1 回開催) ・訓練結果を踏まえた防災研修会の実施</p>
薬事委員会	<p>目 的： 医薬品の採用・廃止に関する事</p> <p>活動実績： ・適切な後発品採用の実施 (年 2 回開催) ・向精神薬等の適正な使用の推進</p>
QM 委員会	<p>目 的： 医療の質の向上に関する事</p> <p>活動実績： ・病院機能評価受審に係る準備 (随時開催) ・内部監査員による院内ラウンドの実施 ・ケアプロセス調査の実施 6 件</p>